

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用児童が遊んだり運動・課題をするのに構造化しやすいよう広いスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準より多い人数配置で行えている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差を作らないようにしている。 トイレには手すりを完備している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に個別面談し確認している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			1年に1度保護者アンケートを実施し業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		幼稚園・保育園・相談支援事業所の方には積極的に見に来ていただいている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修・朝の打ち合わせ時のミニ学習会・江別市内で行われる部会での学習会への参加。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様の意向・子どものニーズについて、アセスメントシートを使いながら確認し・職員間での話し合いをし、計画を立てている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングは毎日行い、プログラムが適正に行われているか話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の様子を多くの職員目で確認しながら飽きがきていないか、毎回入ったスタッフを中心に見直している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			普段なかなか出来ないクッキングや工作・グループワーク・工場見学や外遊び等を実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の打ち合わせ時に担当・送迎・プログラム・支援方法・注意点等を細かく確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎回行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回行っている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者様と面談し、計画の見直しをしている。		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○					
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校からの配布物を定期的に確認させて頂き、連絡調整している。下校時間は必ず確認している。		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現状対象者がいない。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				必要時に電話連絡・訪問を行ったり紙面にてお伝えしている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現状対象者がいない。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				市で行っているこども部会に参加しています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			近隣の公園で一緒に遊ぶことがある。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				スケジュールが合うときに参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				日々の様子・状態を送迎時やお電話・連絡ノート・HUG（保護者とやり取り可能な運営システム）にて確認し合っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				保護者様の話を聞く体制を整えている。連絡帳やHUGにて対応している。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				変更時には必ず説明しています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				必要時には、管理者や普段担当している支援者が電話や面談にて助言・支援を行っている。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			コロナ禍で行えていないが、保護者参加型のイベントを計画している。	

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設けている。苦情があった際には、状況確認・謝罪・報告等を速やかに行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			カードを使ったりルビをふったり大きな文字で漢字を使わずに書くなど、必要と思われる配慮をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ禍により行えていないが、落ち着けば再開していく。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			6か月に1度避難訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束をしないことを前提に、必要な場合のみ対応しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様からアレルギーの有無を必ず確認し職員全員が共有している。又おやつを提供する時は、アレルギー対応の児童はトレーの色を変えたりプレートをつけたり工夫をしている。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				